

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	878	課コード	0801	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	出納・保管	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	会計課・会計課		
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		3.2人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	34,539千円	(うち人件費)	30,400千円		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	00000	重点プロジェクトへの位置づけ	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向				事業目的	適正な収入金の受入と債権者への迅速な支払及び現金等の適正保管を行う。				
(3) 事業内容	内容	市の歳入金の収入処理、予算執行者から支出命令に基づく債権者への支払、出納に伴う証拠書類の整理保管、現金、有価証券及び担保物件の保管、決算の調製、収入証紙の出納及び保管、歳入歳出外現金等の出納保管、物品の出納保管（使用中に係る物品保管を除く）、指定金融機関及び収納代理金融機関の検査などを行う。			当該年度執行計画	収入支出について適正に処理し適正な資金管理と資金不足を生じないよう進める。出納に伴う証拠書類は整理し保管する。				
					当該年度活動結果指標	支出決議票発行件数	単位	件	想定値	49,500
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該(開始)年度	出納・保管事務の適正執行の確保。				直接	支出適正執行率 (支出件数/支出決議票発行件数)		%	100	100
3年後	出納・保管事務の適正執行の確保。				直接	支出適正執行率 (支出件数/支出決議票発行件数)		%	0	100
最終(概ね5年後)	出納・保管事務の適正執行の確保。				直接	支出適正執行率 (支出件数/支出決議票発行件数)		%	0	100
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	平成23年度		平成24年度			平成25年度		平成26年度		
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		会計事務費 嘱託職員報酬費等	1,732 2,118		会計事務費 嘱託職員報酬費等	1,812 2,327		会計事務費 嘱託職員報酬費等	1,812 2,327	
		合計	3,850		合計	4,139		合計	4,139	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	3%	177	補助率	3%	187	補助率	3%	187
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源			3,673			3,952			3,952
(10) 人件費等	換算人数(人)	4.2		3.2		4.2		4.2		
	正職員人件費	39,900		30,400		39,900		39,900		
	嘱託職員報酬額	2,248		2,327		2,327		2,327		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	43,750		34,539		44,039		44,039		
(11) 単位費用	0.89千円/件		0.7千円/件							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	地方自治法第170条第二項の規定により実施しなければならない。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		印刷物作成時には、古紙配合の紙を使用する。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	21.05								
	2.9		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	2.9		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100				○要 ○不要

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	879	課コード	0801	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	会計審査	実施計画への 位置づけ	●有 ○無		②部課名	会計課・会計課		
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	3人 (換算人数) 2.2人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	23,440千円 (うち人件費 20,900千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策 コード	00000	重点プロジェクト への位置づけ	基本計画地区別 計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・ 展開方向				事業目的	適正な会計処理と債権者へ迅速な支払いを行う。				
(3) 事業内容	内容	収入及び支出命令等の審査、支出負担行為の確認、資金前渡、概算払及び前払金の精算審査を行う。			当該年度 執行計画	各担当課の予算執行者への適切な指導を進める。 支出命令等の伝票について適正な審査に努める。				
					当該年度 活動結果指標	審査伝票件数	単位	件	想定値	49,500
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該(開始)年度	地方自治法、財務規則を遵守し、適正に予算執行されるように審査を行う。				直接	指摘事項の改善率		%	100	100
3年後	地方自治法、財務規則を遵守し、適正に予算執行されるように審査を行う。				直接	指摘事項の改善率		%	0	100
最終(概ね5年後)	地方自治法、財務規則を遵守し、適正に予算執行されるように審査を行う。				直接	指摘事項の改善率		%	0	100
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度	
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)
		嘱託職員報酬費等	2,444		嘱託職員報酬費等	2,540			嘱託職員報酬費等	2,540
		合計	2,444		合計	2,540			合計	2,540
	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0
	一般財源		2,444		2,540		2,540		2,540	2,540
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	0
	換算人数(人)		2.2		2.2		2.2		2.2	2.2
	正職員人件費		20,900		20,900		20,900		20,900	20,900
嘱託職員報酬額		2,398		2,540		2,540		2,540	2,540	
臨時職員賃金額		0		0		0		0	0	
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		23,344		23,440		23,440		23,440	23,440	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		0.48千円/件		0.47千円/件						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
必要性	(1) 事業が今必要である理由・ 背景は？(事業の必要性)	地方自治法第170条第二項の規定により実施しなければならない。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性は あるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他	<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層 促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他	<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要		
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を 工夫しているか？ (体制づくり)	参加・協働の内容	工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、 参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容	○要 ○不要	
		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他	<その他の内容> 該当なし。					○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ○不要	
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めて いるか？	配慮の視点	取組む内容		実施した具体的な内容			環境への配慮	○要 ○不要	
		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他	<その他の内容> 特になし。					○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要	
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	(2) 事業費削減の工夫をして いるか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d) (千円)	実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	(3) 目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費(e)	単位	費用単位	計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	4.27	%	100万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					